

1/21 (水) 骨粗しょう症予防教室

ゆうゆう館において、「骨粗しょう症予防教室」が実施されました。「骨粗しょう症」とは骨の量が減って、「す」が入ったようにスカスカになる状態のことで、圧倒的に女性に多くみられる病気です。かつては老化現象の一つと思われていた、腰が曲がったり背が縮んだりするのもこの病気によるものとのことです。

この教室では、骨粗しょう症予防に有効な、カルシウムが多くとれる料理や、予防体操などを学びました。参加者の一人は、「日光浴をしたり、病院で検査をしたりと、普段から気をつけています。この教室を契機に今後も予防を心がけます。」と今後の決意を聞かせてくれました。



2/3 (火) 子どもたちの健やかな成長を願って「つるし雛飾り」展示

茨城町生涯学習課が実施している町民教養講座「つるし雛飾り」の受講生のほか、金沢リリィクラブ、中石崎手芸の会の皆さんが作成した「つるし雛飾り」が、桃の節句の3月3日まで茨城町役場に展示されました。

色とりどりのつるし雛を前に、講師の渡辺淑江さん（大洗町）は、「楽しく作ることが大事。皆さんお子さんやお孫さんの成長を願って作成しました。」とつるし雛に込められた思いを話ってくれました。



1/21 (水) 茨城県統計功労者表彰式

統計事業の一層の充実と統計知識の普及啓発を目的として、茨城県統計功労者表彰式が県庁にて開催されました。

茨城町からは、統計調査員としての活動が評価され、2名の方が表彰されました。江幡さんは9年間、深作さんは10年間という長期間統計調査にご協力いただいております。

▼表彰者は次のとおり
茨城県知事表彰 江幡 武男さん（駒場）
経済産業省大臣官房調査統計審議官感謝状 深作 正雄さん（下飯沼）



1/22 (木) 米川英里奈さん 知事賞受賞 下水道促進週間コンクール

茨城県庁において「平成26年度茨城県下水道促進週間コンクール」の表彰式が行われ、青葉中学校1年の米川英里奈さんが、「書道部門」で知事賞に入選し、表彰されました。

茨城県では、下水道に対する理解を深めるため、茨城県下水道促進週間（9月10日は下水道の日）を定めて様々な啓発活動を行っており、その一環として「茨城県下水道促進週間コンクール」を実施しています。



1/5 (月) 新年を祝う宝船



茨城町花き生産組合（長谷川重幸組合長）より、茨城町の災害除け、地域経済の活性化、東日本大震災からの復興、そして町民の皆さまの無病息災、商売繁盛、家内安全を祈念して、花き類で装飾された宝船が寄贈されました。

茨城町農産物マスコットキャラクター「ひぬ丸くん」にあやかり「ひぬ丸」と名付けられた全長約2.8メートルの宝船は、茨城町産のシクラメンやキクに蘭など沢山の花々に彩られ、素晴らしい新年の幕開けを祝いました。

1/8 (木) 少年の主張表彰式

青少年育成茨城町民会議主催の「少年の主張」作文の表彰式が茨城町役場で行われました。

「少年の主張」は、中学生が日常生活の中で感じたことや考えていることを言葉に表し、広く社会に訴えることによって、将来に向かって自信と誇りを抱いてもらうことを目的としています。

数多くの作品の中から茨城町長賞を受賞した中川美奈子さん（明光中学校2年）は、「パティシエになりたい」と題し、夢を叶えるために必要なことは強い意志をもって努力し決して諦めないことだと訴えました。また、中川さんは茨城町民の日式典において作品を発表しました。

【受賞作品】

○茨城町長賞	「パティシエになりたい」	明光中学校	2年	中川	美奈子さん
○茨城町教育長賞	「日本人の誇りと改善点」	明光中学校	3年	平田	帆南さん
	「家族と友に感謝」	青葉中学校	2年	松本	明日香さん
○青少年育成茨城町民会議会長賞	「平和への願い」	明光中学校	3年	長洲	佳奈さん
	「みんなから応援されるチーム」	青葉中学校	2年	倉持	菜々美さん
	「自然環境について考える」	青葉中学校	2年	萩谷	怜央さん
	「便利なツールとの距離を考える」	明光中学校	1年	加藤	雄大さん
	「善と悪」	明光中学校	1年	久保木	桃花さん



1/13 (火) ありがとうの気持ちを込めて 川根小学校へ「ならせもち」寄贈



鈴木照子さん（更生保護女性会）をはじめ、保護司や児童の祖父母など7名が協力して茨城町立川根小学校に「ならせもち」を寄贈しました。

鈴木さんたちは、毎月花を生けて学校に飾ったり、農業体験に協力したり、朝校門にたつて挨拶をしたりと、学校活動に協力しています。教頭先生によると、皆さんは「川根小学校の応援団」で、児童たちにも「いつものおじいちゃん・おばあちゃん」と知られているそうです。

材料を持ち寄って作った「ならせもち」は、紅白緑黄の4色に色付けしたお餅を水木にとりつけたカラフルな仕上がりになっています。

鈴木さんは、「川根小学校にありがとうの気持ちを込めて作りました。子どもたちには川根小のことをいつまでも忘れずに、良い子で育ててほしい。」と今年度閉校する同小学校に通う児童たちにエールを送りました。